



ゆかりじぬ

第一回

子どもたちの外遊びを通じて
新たな「地域コモンティ」を

「AKI-CHI」代表 塚田 翠さん



●次の「AKI-CHI」開催日程●

日時／4月16日（日）＊雨天中止

10:00～12:00

場所／片岡公民館



詳しくはこちる

塚田さんは、健康運動指導士として、市内のリハビリテーションセンターに勤務し、子どもから高齢者まで幅広い年代の健康維持・増進活動を行っています。その傍ら祖父母の介護を経験し、自分や子どもたちの世代で、「少しでも介護を受ける人が少なくなれば」という想いから「究極の介護予防」として、また「地域の居場所づくり」として、子どもの外遊びを支援する団体「AKI-CHI」の活動を始めました。

私たちの暮らしは、やがておなものが便利になりました。体を動かす機会が昔に比べて極端に少なくなりました。塚田さんは、「特に子どもの日々の過ごし方の変化は赤信号」と危惧します。

「AKI-CHI」では、遊びのルールはなく、その日集まつたメンバーで話し合い、外遊びを繰り広げます。竹やぶ遊び、サッカー、穴掘り、まき割り、だらまさんがころんだなど。いつの間にか、さまざまな遊びが発生して、広場はにぎわいます。「外で遊んで体得した感覚は、その子の中に蓄積されていつか応用される。外遊びは運動神経万能への近道。たくさん遊んで力の加減を知つて欲しい」と塚田さんは言います。

また、活動に賛同する大人や、中高生ボランティアが、回を重ねるごとに増え、大人も子どもも体を動かして楽しむ新たな地域コモンティの場として確立しつつあります。

「AKI-CHI」の活動は、いつの間にか地域をつなげ、元気にしているようです。「ボランティアの支えがあつたから続けてこれた。これからも人とのつながりを大切にして、内容をアップデートしていきたい」塚田さんの活動はますます盛り上がりをもたらすようですね。

Editor's Note 編集後記

▷閉校した泉中学校と川崎小学校。子どもたちに取材すると、寂しい思いを持つつもしっかりと前を向き、未来を楽しみにしている姿が見られました。生まれ変わる泉中学校も楽しみです。(DYC)

▷リニューアルした広報はいかがでしたか?矢板市には特集や新コーナーなどで取り上げたい話題がまだたくさんあります。引き続き皆さんに楽しんでもらえるよう頑張りますのでよろしくお願いします。(こっこ)